



おかじま つよし 岡島 剛 議員 OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 合併について 町長の見解は

A. 検討する状況にはない

町長選挙で「将来的な見地から合併を視野に入れて」という文章を公約に入れた候補者がいた。

また、11月28日付けの新聞報道で豊山町について、くすぶり続ける合併話という特集が掲載された。

Q 愛知県が進めている防災拠点の整備という事業があり、豊山町を活性化させる大きなチャンスである。第5次総合計画でも合併を取り上げていない。私人としては、合併に反対であるが、町長の見解はどうか。

A **町長** 市町村合併は、町民の意向が最も大切である。今回の選挙で町民の皆さまと話をすることで、合併の話をする方もいたが、全体として合併について検討する状況にないと判断している。

しっかりとまちづくりに取り組んでいく所存である。

Q. 航空機開発凍結による影響は

A. 町財政への影響を注視

第5次総合計画の基本構想では、まちづくりの基本理念と将来像の中に「空港周辺地区には国産初のジェット旅客機の最終組み立て工場が完成、見学施設も整備されました。あいち航空ミュージアムもオープンし、本町は航空機関連施設の集積する「コークのまち」として輝き、にぎわいを実現しています。」と明記してある。

しかし、コロナ禍の中で、10月30日に航空機関連会社が航空機開発の一時凍結を発表した。

Q 第5次総合計画では、ヒコークのまちをテーマにした観光推進とあるが、計画への影響はあるか。

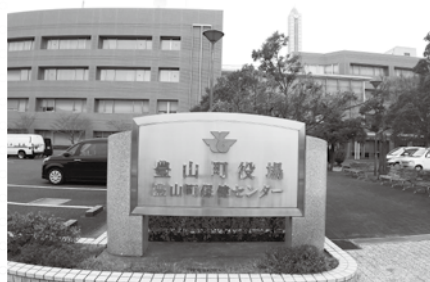
A **産業建設部長** 国産ジェット旅客機最終組み立て工場見学施設は、観光推進や地域活性化事業を展開するうえで欠かすことのできない航空関連資源のひとつと考える。そのため、少なからず影響はある。

しかし、本町には県営名古屋空港を中心に、あいち航空ミュージアムや航空館boonなど魅力ある航空関連資源が立地しているので、有効的に活用し、ヒコークのまちをテーマにした観光推進・地域活性化事業をすすめていく。

Q 来年度の予算など財政的な影響は。

A **総務部長** 航空機関連会社からの税収は、土地、家屋、償却資産に係る固定資産税が大部分を占める。国産初のジェット旅客機開発の規模縮小に伴って令和3年度の町財政への影響は、少ないものと考えている。

ただし、将来的には開発規模の縮小に伴い、設備投資がマイナス基調で推移していくことや従業員の減少などが懸念される。今後の町財政への影響を注視していく。



▲これからの豊山町に期待

